

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2024年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第2回講義

北海道観光 未来への戦略 『HOKKAIDO PRIDE』

北海道科学大学 参与
木本 晃 氏

- ① 新しい技術・製品・システムが次々と生まれますが、十分に活用できません。新幹線延伸、空港活性化、観光振興が自分にどんな意味があるのかがわかりません。技術者はそのアイデアによって世界をどう変えようとしているのかを説明する必要があります。どんな世界が私たちの未来に広がるのかを描いてみせてほしいということです。
- ② 観光は地域活性化の切り札だと国は言います。しかし、地方には観光で稼ぐ仕組みがありません。稼いだお金を地域に還元する仕組みがありません。お金が地域外に流出していきます。観光客は一度に同じ場所に訪れて観光公害を引き起こします。観光施設は人手不足で満足に稼働できません。稼ぐチャンスを活かす工夫が地域に求められています。夢を語り、仲間を見つけ、知恵を絞り、より遠くを目指してください。

日時： 4月19日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面j授業

木本 晃 先生

北海道出身、昭和58年北海道大学工学研究科建築工学専攻修士課程退学。

北海道入庁、建設部住宅局住宅課長、総合政策部交通政策局新幹線推進室長、同部航空局長、経済部観光振興監、(株)北海道二十一世紀総合研究所特任審議役の勤務を経験され、令和6年年4月から現職。

工学部出身であることを活かし、観光政策はもとより、より幅広い分野において科学技術政策の重要性を広めています。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授